

連載

- 10 世界のキーパーソン
- 11 国内人情情報
- 27 Book Reviewing Globe
- 40 広告を裏読みする
- 42 大往生考
- 51 西風
- 59 交差点―読者の声・編集者の声

社会・文化



特定の組織に偏った人選で、世界標準の専門性を有するかも怪しい。感染拡大の現実から目を逸らし、PCR検査を抑制する姿勢には国内外から疑問の声。政府への提言役をこの人たちに任せてよいのか。(110頁)

- 98 社会・文化 ● 情報カプセル
- 100 **コロナ治療薬「開発競争」の最前線**
- 104 民放テレビ局は「地獄の二年」――キー局の「地方切り捨て」が本格化
- 106 バチンコと国会議員の「深い絆」――コロナ禍でも営業自粛を免れる理由
- 108 **病院にも迫る「コロナ倒産」の足音**
- 110 **新型コロナ専門家会議**――その提言に「世界が」疑問符
- 88 皇室の風――岩井克己
- 90 日本の科学アラカルト
- 92 新・大学評判記
- 94 本に遇う――河谷史夫
- 96 をんな千一夜――石井妙子
- 114 マスコミ業界ばなし

経済

- 60 **米国株「パニック相場」の行方**
- 62 楽天「携帯電話」に響く吊鐘――三木谷「まやか」し経営の罪深さ
- 64 **「重症化」日本経済への処方箋**
- 67 連載「クローズ・アップ」
- 68 連載「企業研究」**「電通グループ」**
- 72 株価暴落で「仕組債」の阿鼻叫喚――証券大手「強引営業」の大罪
- 74 経済 ● 情報カプセル
- 78 連載「地方金融の研究」北國銀行――「前代未聞」着服事件にみる行風
- 80 アパレル業界は「総崩れ」の様相――「倒産・身売り」「再編」は不可避に
- 82 「銀行クライシス」が着火寸前――金融界こそ「非常事態」の只中
- 84 **東芝・車谷が「MBO」画策の仰天**
- 86 前田道路「買収防衛惨敗」の真相――東証を激怒させた「大失態」

五輪延期で多少焼け太っても、経営悪化の根治には至らず。海外子会社の高値掴みで財務はガタガタ。のれん残高と有利子負債の膨張に加えて、頼みの国内部門も低落が続く。もはや「王者」の面影はない。(68頁)



政治



「四選」やる気なしの安倍にとって、五輪開催は来夏がラストチャンス。その後の「岸田禅譲」にこだわれれば、自らの手で「年内解散」を打つ必要も。経済危機が今後増幅する中、退陣シナリオは狂い続ける。(48頁)

- 44 政治 ● 情報カプセル
- 46 **経済危機でも存在感なき「財務省」**
- 48 **「五輪と安倍退陣」W延期**
- 52 連載「政界スキャンダル」も延命に利用する安倍政権
- 54 **新感染症に無策の「国家安全保障局」**
- 56 「野党共闘」を分断する官邸――菅「玉木」親密化に潜む異
- 58 連載「罪深きはこの官僚」吉田学（厚生労働省医政局長）――感染拡大「医療現場混乱」を助長

WORLD

- 6 **世界「コロナ恐慌」の暗黒**
- 12 **トランプ再選を阻む「感染爆発」**
- 14 先進各国「公共放送」の苦境――視聴者離れと「権力介入」の脅威
- 16 「死の都市」イタリア医療の腐敗――世界最悪感染国の「人災」
- 18 **WORLD ● 情報カプセル**
- 22 **仏独「核兵器共有」構想が浮上**
- 24 **中東国家「連鎖破綻」の現実味**
- 28 世界規模「コロナ情報戦」の醜悪――嘘と謀略が容易に拡散する時代
- 30 アジアを襲う「害虫」異常発生――新感染症の次は「食糧危機」
- 32 台湾から消えゆく「中台統一派」――国民党「新主席」に怒り心頭の習近平
- 34 文在寅が企てる中朝首脳「同時訪韓」――米韓同盟は益々不安定に
- 36 **「コロナ以前」に戻れない中国経済**
- 38 連載「現代史の言霊」四月の潰走――在イラン米大使館「人質救出失敗」(一九七九年)

リーマン危機との違いは大きい。敵が未知の感染症であること。米国が「国際協力」を先導しないこと。同時に逆石油ショックを起こす愚かな国があること。そして当時より世界の債務総額が増えたことだ。(6頁)

